

平成30年度 夏季研修会まとめ

1、研究集会

研究集会では、富士見小学校の伊藤友佑先生がラグビー、豊田南小学校森田元先生がディスクサッカーでの実践について発表をしてくださいました。今回の発表を通して、共通している大切な点についてまとめました。

- ・運動の**系統性を意識**し、身に付けなければならない技能を意識して指導をする。
- ・**子供たちの実態に合っており、子供たちが魅力を感じる**ことができる教材となるように、**教材研究**を大切にする。
- ・**主体的に課題解決学習を進める**ことができるように、子供たち同士が**対話する時間を意図的に確保**して授業を構想する。



伊藤友佑先生



森田元先生

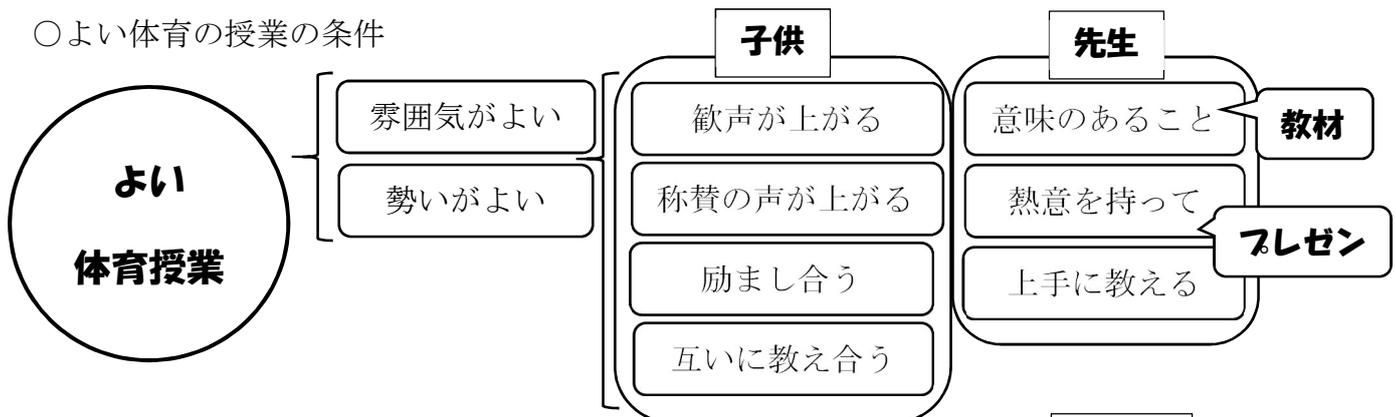
2、研究講座

講師：静岡産業大学 副学長 経営学部 小澤治夫教授

演題：「よい体育授業の作り方」

～歓声が上がり、称賛の声が沸き起こり、声援が送られ、教え合う姿が観察される授業～

○よい体育の授業の条件



ゴーヤチャンプルー

- ・苦いけどうまい！
- ・苦いから、うまい！
- ・体のためになる。

体育授業

- ・きついけど楽しい！
- ・体のためになる。

教師

- ・スポーツに合った服装
- ・工夫した場の設定
- ・良い指導言語(オノマトペ) 具体的な指示

○体力テストについて

- ・計測するだけになってしまっている。
→クライマックスイベントにし、全校で楽しんで行う。
- ・続けられるものにする。(残存効果)
- ・上位の子供たちの記録は伸びにくい。下位を伸ばす。
- ・投力を伸ばす良さ
 - ①肩を回す動作が様々なスポーツで生きる。
 - ②2年生までに学ぶことで、体幹の使い方を学び、体の軸を作る。



小澤治夫教授

※研究集会、研究講座の資料を各校へ配付してありますので、詳しくはそらちをお読みください。